

いわみざわ

市議会だより



表紙は教育大学岩見沢校美術文化専攻

2年 枝元 善藏さんの作品

タイトル：浅春

作者から：春先の漁村を描き、寂寥感の中に生活感がにじみ出るような絵を意識しています。

(2019年度 道展 新人賞 受賞作品)

今号の主な内容

■ 審議結果	2
■ 質問項目一覧	4
■ 一般質問	5
■ 政務活動費収支報告	9
■ 編集後記	10

令和2年第1回臨時会（5月1日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
報告第1号	専決処分した事件の承認について(岩見沢市国民健康保険条例の一部改正)	承認
報告第2号	専決処分した事件の承認について(岩見沢市後期高齢者医療に関する条例の一部改正)	〃
議案第40号	令和2年度岩見沢市一般会計補正予算について(第1号)	原案可決

令和2年第2回定例会（6月15日 ▶ 6月26日） 審議結果

議案番号	件名	審議結果
報告第3号	専決処分した事件の承認について(岩見沢市国民健康保険条例及び岩見沢市介護保険条例の一部改正)	承認
報告第4号	専決処分した事件の承認について(令和2年度岩見沢市一般会計補正予算(第2号))	〃
報告第5号	専決処分した事件の承認について(令和2年度岩見沢市特別会計高等学校費補正予算(第1号))	〃
報告第6号	専決処分した事件の承認について(令和2年度岩見沢市病院事業会計補正予算(第1号))	〃
議案第41号	岩見沢市栗沢市民センター条例の設定について	原案可決
議案第42号	岩見沢市税条例等の一部改正について	〃
議案第43号	岩見沢市手数料条例の一部改正について	〃
議案第44号	岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第45号	岩見沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第46号	岩見沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第47号	岩見沢市印鑑条例の一部改正について	〃

議案番号	件名	審議結果
議案第 48 号	工事請負契約の締結について(南利根別排水機場土木構造物改修工事)	原案可決
議案第 49 号	市道路線の認定及び廃止について	〃
議案第 50 号	令和 2 年度岩見沢市一般会計補正予算について(第 3 号)	〃
議案第 51 号～ 議案第 86 号	農業委員会の委員の任命について【黒田芳明氏・森一男氏・久保智則氏・西谷内智治氏・佐々木利夫氏・宮崎裕治氏・干場克二氏・尾田憲朗氏・宇井正明氏・志賀野敏氏・池田明博氏・日笠和良氏・山谷康雄氏・倉田真二氏・戸田憲一郎氏・渡辺亮二氏・坂野博之氏・岩瀬孝雄氏・長森睦氏・杉村幸浩氏・高田勝彦氏・中林強氏・川北敏充氏・山田辰弘氏・西村昭寿氏・吉成朗氏・長井孝之氏・馬場広之氏・井川和也氏・坂口信幸氏・引頭一宏氏・伊藤俊春氏・近田昌枝氏・柿崎壽恵子氏・米内山裕子氏・小倉和敏氏】	同 意
諮問第 1 号	人権擁護委員の候補者の推薦について【石尾秀逸氏】	〃
意見書案第 3 号	新たな基本計画における農村振興の強化について	原案可決
意見書案第 4 号	林業・木材産業の持続可能な発展に向けた施策の充実・強化について	〃
意見書案第 5 号	義務教育費国庫負担制度の充実について	〃

※可決した意見書案・決議案の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

第 2 回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配布されました。

- 「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の改正を求める意見書の採択について
- 「国による全国学力調査を全員参加の悉皆から抽出に改めること」について
- 「公立学校教員に 1 年単位の変形労働時間制を適用しないこと」について
- 「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」の提出について
- 安藤提言を早急に実行するよう国に意見書を提出することについて
- 新たな基本計画における農村振興の強化を求める意見書の提出について

一 般 質 問

第2回定例会において、市の施策の状況や方針等について、8人の議員が市長、教育長に対して一般質問を行いました。
紙面の都合上、要約し掲載いたします。

一般質問項目一覧 ※大項目のみ掲載

市民クラブ 峯 泰 教 議員

- ①新型コロナウイルスへの対応について
- ②市内経済への影響と今後の支援策について
- ③新型コロナウイルス感染症への今後の取組と克服に向けた決意等について
- ④学校における取組について

政和会 日 向 清 一 議員

- ①新型コロナウイルス感染拡大に対する取組について
- ②オンライン授業データの共有について
- ③教職員の負担軽減と児童・生徒の安全な学習環境の確保について

公明党 猪 口 満 雅 議員

- ①新型コロナウイルスの影響による今後の対策について

政和会 石 黒 武 美 議員

- ①市長選挙に向けての所感について
- ②北村地区振興方策について
- ③災害に強いまちづくりについて

みどりの会 河 合 清 秀 議員

- ①岩見沢市の人口8万人割れと今後の人口問題に対する取組について
- ②J R北海道上幌向駅ホームに、岩見沢市として列車非常停止警報装置設置の要請について
- ③新型コロナウイルス対策について

日本共産党議員団 山 田 靖 廣 議員

- ①市立総合病院の新型コロナウイルス感染症対応について
- ②学校・教育での新型コロナウイルス感染症対応について

日本共産党議員団 上 田 久 司 議員

- ①新型コロナウイルス感染での現状・対応・支援について
- ②障がい者通所施設への交通費の支給について

政和会 池 島 和 行 議員

- ①災害時における新型コロナウイルス感染症対策について
- ②小中学校における新型コロナウイルス感染症対策の影響について



市民クラブ 教 泰 市 峯

新型コロナウイルスへの対応について

発症者が出た場合の北海道や保健所との情報共有と市民に対する情報発信について

【市長】新型コロナウイルスの感染者や感染経路の調査、公表については、法律の規定により、保健所設置市の札幌、旭川、函館、小樽市を除き、北海道が行うこととされ、職業、居住地など、感染者本人が希望しない場合は公表されず、市では北海道が公表した情報以外は持ち合わせていないのが実情である。

しかしながら、情報の発信については、公表が可能な範囲で慎重に取り扱うとともに、市民が不安を抱かない、感染予防につながる情報を発信することが何より重要であると考えている。

このことは当市だけではなく、全国的に、個人情報を理由として市町村へ感染者に関する情報が提供され

ない事例が生じており、感染者本人の健康管理や蔓延の防止に関する措置を講じることも困難となっていることから、国に対し、緊急要望を行ったところである。

これに対し、国からも「地域の感染者等の状況を踏まえ、都道府県から市町村への情報の提供のあり方について、改めて都道府県と市町村とで十分に協議の上、市町村における事務の実施に必要な範囲内で適切に情報提供を行われない」との事務連絡が発出されている。

今後においても、市民の皆様へ可能な範囲で感染症の予防等につながる情報をいち早く提供するとともに、感染症対策を行う北海道とも情報共有を図りながら、迅速な対応を連携して取り組めるよう、引き続き要請を行っていく。

一般質問の録画映像を YouTubeで 公開しています 一般質問：峯議員



政 和 会 日 向 清 一

新型コロナウイルス感染拡大に対する取組について

①市長が重視して取り組んできた内容及び今後の地域経済の回復に向けてどのように取り組むのか

【市長】市民の生命と健康、生活と地域経済を守ることを最重点に、国や北海道の制度では対象とされない部分や、早急な対応が必要とされる業種への支援を重点的に、市独自でスピード感を持ち取り組んできた。

また、今後の地域経済の回復に向けた取組については、消費喚起対策を実施するとともに、地域経済の状況や国の対策などを注視しながら関係団体と協議・連携し、引き続き必要な対策を検討し実施していく。

②対策について財政調整基金の取崩しだけでなく、既存予算の組替えなどが必要と考えるが

今後、感染症対策のための追加経費や代替事業の検討も必要となると考えているが、既存予算を振り替え

る段階にはないと考えている。必要な財源の確保については、国の2次補正において、2兆円積み増しされている地方創生臨時交付金の活用や、必要な場合には財政調整基金の取崩しも視野に入れた上で、次なるステージである回復フェーズへの移行と地域経済の活性化に向けて取り組んでいきたいと考えている。

③日の当たっていない層への支援について

市独自の緊急経済対策として、小規模事業者等経営サポート給付金事業の創設や、生活に困窮された方への支援策として、ひとり親家庭を対象とした貸付金制度の創設と児童一人あたり5万円の給付を決定した。

また、アルバイト収入の減少による大学生等の困窮については、国において「学生支援緊急給付金」の予算の積み増しや「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金」の対象にアルバイト学生を含めることが検討されているなど、支援制度が徐々に拡充されている状況にある。

一般質問の録画映像を YouTubeで 公開しています 一般質問：日向議員



党 明 公
猪 口 満 雅

**新型コロナウイルスの影響
による今後の対策について**

**①災害対策資金に関する保証料の
減免について**

【市長】日本政策金融公庫の融資実行までに時間を要するため、困窮する市内事業者に支援する必要があると判断し、市の融資制度初となる無利子かつ保証料を全額補給する短期資金を創設したほか、長期資金についても3年間全額利子補給する制度に拡充するなど、雇用の維持や事業の継続に向けた支援に努めてきた。

長期資金の保証料全額補給については、北海道が「実質無利子、保証料全額補給」の長期資金を創設したことから、市が重複した制度を設ける必要はないと判断したところであるが、今後においても、国や道の動向や市内経済の状況等を注視し、事業継続に必要な資金の調達が円滑に行われるよう制度の運営に努めていく。

②失業者の増加に伴う採用推進への取組について

雇用を維持するためには、各事業所の事業の継続を促進することが重要であることから、国も様々な制度により支援を行っているが、市としても融資制度の充実や経営サポート給付金の創設と拡充、さらには雇用調整助成金の活用を促進するため社会保険労務士による相談窓口を開設するなどして雇用の維持を支援しているところである。

地域での雇用を促進するため合同企業説明会を開催するとともに、北海道や近隣市町、市内の高校、商工会議所等の経済団体などと連携し、求職者のニーズや各業界への理解を深められるよう各種セミナーを開催するなど、引き続き雇用の促進に努めていきたいと考えている。

一般質問の録画映像を

YouTubeで
公開しています



一般質問：猪口議員



会 和 政
石 黒 武 美

北村地区振興方策について

①北村地区のインフラ整備について

【市長】本年4月のAコープ北村店の撤退については、市としても必要な協力を続けてきたが、店舗の老朽化や多額の赤字を抱える中での改築が困難であるとして、閉店するという判断に至ったものと伺っている。

閉店後においては、地域の生鮮食料品店がこれまでAコープが担ってきた機能を補完しているが、限界もあることから、コンビニエンスストアや新たに巡回を始めた移動販売車など、異なる特色を持った小売業者の組合せにより、総体として充実したサービスが確保されることを期待している。

北村中心部も市内における拠点の一つと位置づけており、将来にわたって一定の生活基盤を確保していくことが重要と考え、本年度においては、国の地方創生拠点整備交付金

を活用しながら、5億円を投じて北村温泉施設の大規模リニューアルを進めているところである。

これにより、地域住民の快適性の向上とともに、北村温泉の観光利用の促進など、地域振興にとっても大きな波及効果をもたらすことを意図しており、今後のインフラ整備についても、引き続き地域のニーズを踏まえながら、必要な施策を講じていきたいと考えている。

②今後の振興方策について

現在、北村地区は、遊水池事業による集落の再編や営農環境の変化など、大きな変革の時期を迎えているが、基幹産業である農業の振興を軸とした取組が重要と考えており、担い手の育成や農地の集積・集約化のほか、先進的に取り組むスマート農業をより深化させるための集中的な投資を行い、地域特性を踏まえた社会生活基盤の向上に努めていきたいと考えている。

一般質問の録画映像を

YouTubeで
公開しています



一般質問：石黒議員



みどりの会
河合 清 秀

岩見沢市の人口8万人割れと今後の人口問題に対する取組について

① 岩見沢市の人口8万人割れしたことについて市長の見解は

【市長】日本の総人口が減少していく中、当市においても、人口減少を想定しており、人口が8万人を下回ったこと自体は一つの節目ではあるが、一喜一憂すべきものではないものと、冷静に受けとめている。

② 人口減対策について、今までのような取組を行い、その取組の総括はどのように行ってきたのか

これまで、「第1期総合戦略」に基づき、安定した雇用の創出や子ども・子育て支援の充実など、施策をバランスよく総動員した取組を進め、人口減少の抑制を図ってきた。

その検証と総括について、この5年間における人口動態は、全国と同様に出生率の改善が見られない中、出生数の減少に伴う自然減の拡大が続く一方、社会動態は、14歳以下の

子供とその親世代に相当する30代において、顕著な改善が見られるなど、一定程度の歯止めがかかっているものと評価しており、当市における近年の人口減少は、少子高齢化に伴う自然減に大きな要因があるものと総括している。

③ 今後は人口減対策をより充実すべきと考えるが市長の考えを伺う

人口縮減社会を迎えた中、人口政策のみをもって地方創生を実現することは無理がある。

これからは、一定程度の人口減少を前提とした上で、地域の活力や経済規模を維持・向上させていくことが必要であり、本年度からスタートした「第2期総合戦略」においては、人口減少を見据えた積極的な「調整戦略」を要として、効率的で利便性の高いまちづくりを進める。

今後は、「第2期総合戦略」に掲げた各施策の着実な推進とその相乗効果を図ることにより、より豊かで自立した地域を目指していく。

一般質問の録画映像を
YouTubeで
公開しています



一般質問：河合議員



日本共産党議員団
山田 靖 廣

市立総合病院の新型コロナウイルス感染症対応について

① 医師・看護師の勤務体制及び医療資材の確保について

【市長】診療については、呼吸器内科及び小児科の医師が専任で対応し、看護師は、日勤・夜勤の交代制で対応しており、医療資材については、必要な数量を確保できている。

② 感染症対応従事者に対するケアについて

院内での相談などケア体制の充実や職員の希望を考慮した定期的な配置転換に加え、医療従事者に対する特殊勤務手当の支給や宿泊施設の借上げ制度を創設するなど、職員の負担軽減に取り組んでいる。

③ 院内感染予防に向けた取組について

来院者に対し検温を実施しており、発熱者は専用ブース内で問診等を行うなど、発熱のない患者との接触を避けるよう、患者の動線とゾー

ニングを分ける対応を図っている。なお、そのほかに飛沫予防策、接触予防策はもとより、出入口と開放時間の制限、面会の原則禁止、3密回避、院内放送や掲示による来院者への注意喚起など、院内感染の防止に向けた様々な取組を行っているが、感染の次の波を見据え、院内感染対策委員会を中心にさらなる対応策の検討を進めている。

④ 感染症対応による経営への影響について

緊急を要しない手術の延期や感染不安に起因する受診抑制などにより、医業収益が減少し、前年同月比で4月は約1億1千万円、13・1%の減、5月は約1億3千万円、14・8%の減となつている。このような状況を踏まえ、北海道市長会等を通じて国に対し、医療提供体制の確保や財政措置等の充実に係る必要要望を適宜行う。

一般質問の録画映像を
YouTubeで
公開しています



一般質問：山田議員



日本共産党議員団
上田 久司

**新型コロナウイルス感染での
現状・対応・支援について**

①雇用調整助成金について

【市長】申請事業所が特定される可能性があることから、ハローワークごとの公表は行わないとしているため、市内事業所の申請状況等の把握は困難な状況である。

②新型コロナウイルス感染対応支援金について

休業していても、休業手当が支払われていない従業員に対し、国が直接支給する制度で、休業前の賃金の8割、月額33万円を上限として給付するとしている。

これらの周知については、国が主体となって取り組むが、市としても商工会議所などの経済団体と連携しながら周知を図る。

③事業所閉鎖、雇い止めなど解雇・失業等の実態について

倒産、廃業に至った事業所はないと聞いており、従業員の解雇や自己

都合で退職したケースについては、雇用保険資格喪失者数は増加しておらず、求職者数も前年同月と比較して減少していること、感染拡大を理由とした生活保護の申請もない状況にあり、心配される状況には至っていない。しかし、雇用環境の悪化も懸念されるため、ハローワークとの連携強化を図り情報収集をすることにも、商工会議所が実施している調査の結果などについても共有するなど雇用情勢を注視する。

——市としての職員等の採用について

特別定額給付金支給事務の実施にあたり、受託先の人材派遣業者に対し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により失業した方等を優先して採用するよう求めており、市の会計年度任用職員の採用に際しても個別の状況を聴取の上、対応していく。

一般質問の録画映像を
YouTubeで
公開しています

一般質問：上田議員



政 和 会
池島 和行

**小中学校における新型コロナウイルス
感染対策の影響について**

**①臨時休校中に行えなかった授業
日数を夏休みの短縮により何日回復できるのか**

【教育長】夏休みを16日間短縮し、回復できる授業日数は、休日を除き11日間となる。

②昨年度の未履修の実態と詰め込み授業にならないための対応は

4月中に前年度の未履修であった学習を終え、新たな学年で学習する内容へ進んでおり、長期休業の短縮と行事の精選により、必要な授業時数を確保する。

③熱中症が心配だが各学校における対策は

換気や身体的距離を保つことで、マスクの着用は不要とするなど、状況に応じて対応し、水分補給のためマイボトルの持参を推奨している。

また、感染対策としての換気と熱中症対策への効果が期待できる扇風

機の導入を進めている。

④中体連・文化的部活動等の大会が中止になったことによる市内3年生の人数や種目などの実態は
市内の中学校には、3年生が約620名在籍し、約470名が部活動に所属している。体育的部活動には、13の競技部に約340名が所属し、そのうち、12の競技について、中体連主催の大会の中止が決定している。

⑤3年生のケアなどをどのようにしているのか、また、中体連・文化的部活動等の代替大会の実施は

生徒の気持ちに寄り添い、顧問や担任等が生徒の思いを受け止め、学校全体で支えている。

代替大会の実施予定は、地区の競技団体が主催する大会を設け、子供たちの新たな目標となっている。

文化的部活動についても、定期演奏会の開催や地域貢献活動、作品発表や各種検定への挑戦など、次の目標に向けた活動が行われている。

一般質問の録画映像をYouTubeで
公開しています

一般質問：池島議員

政務活動費収支報告（平成31年4月～令和2年3月）

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派または議員に交付されるもので、岩見沢市議会では会派に対して議員1人当たり月額1万円（年額12万円）を年度当初に一括で交付しております。

各会派から提出されました収支報告書に基づき、収支の状況をお知らせします。

また、平成31年4月に市議会議員選挙が行われたため、4月分と5月以降の11カ月分を分けて掲載いたします。

なお、視察及び研修に係る政務活動計画書、政務活動報告書及び領収書等を市議会ホームページ及び情報公開コーナーで公開しています。

平成31年4月

（単位：円）

会派名	市民クラブ (9人)	政和会 (6人)	公明党 (2人)	日本共産党議員団 (2人)	無所属 (1人)	計 (20人)
政務活動費交付額	90,000	60,000	20,000	20,000	10,000	200,000
支出内訳 事務所費	0	0	20,000	0	0	20,000
支出合計	0	0	20,000	0	0	20,000
残金（返還金）	90,000	60,000	0	20,000	10,000	180,000

令和元年5月～令和2年3月

（単位：円）

会派名	市民クラブ (12人)	政和会 (5人)	公明党 (2人)	日本共産党議員団 (2人)	みどりの会 (1人)	計 (22人)	
政務活動費交付額	1,320,000	550,000	220,000	220,000	110,000	2,420,000	
支出内訳	調査研究費	1,113,945	428,531	0	201,000	0	1,743,476
	研修費	0	0	0	0	79,305	79,305
	広報費	0	0	0	0	0	0
	広聴費	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	0	4,510	0	4,510
	人件費	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	
支出合計	1,113,945	428,531	0	205,510	79,305	1,827,291	
残金（返還金）	206,055	121,469	220,000	14,490	30,695	592,709	

◆政務活動費を充てることができる経費の範囲 ※一部抜粋

- ・調査研究費 会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
- ・研修費 会派が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
- ・資料購入費 会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費

全国市議会議長会表彰

篠原藤雄議長が、議員活動 15 年以上の功績による表彰状と全国市議会議長会評議員を務めた功績による感謝状を受けました。



市議会ホームページを見てみよう

議員名簿、議会の概要、本会議・委員会などの会議のお知らせ、過去の会議の結果（会議録）などを掲載しています。ぜひご覧ください。



本会議のインターネット中継について

本会議の様をインターネット動画サイト YouTube にて生中継・録画中継しております。下記 URL もしくは QR コードよりご覧ください。
URL https://www.youtube.com/channel/UCjjSzdyAOXBFq_yRLRIS7gg



市民との意見交換会について

昨今の新型コロナウイルスの感染リスクを考慮し、開催を見合わせております。安全に開催できる状況となりましたら、改めて周知いたします。

編集後記

広報広聴委員会委員 猪口満雅

はじめに新型コロナウイルスへの対応に日夜使命を全うすべく献身的なご努力をされております医療従事者の皆さんへ心より感謝と敬意を表します。

感染防止の観点から本定例会は、時間短縮の上、議場の扉を開放して行いました。専決処分報告、議案、意見書などが可決されました。また紙面内容の通り、一般質問がありました。

コロナ禍における現状分析と今後の対策は、議員一同、最優先の事項と認識しております。今後も市民の皆様と一丸となってこの難局を乗り越えてまいりたいと思います。

〔委員長〕 太田博之

〔副委員長〕 池島和行

〔委員〕 越戸正樹

平野義文

宮下 透

日向清一

猪口満雅

山田靖廣

河合清秀

議会の傍聴について

本会議と委員会は、どなたでも傍聴することができます。

※団体で傍聴される方は、席確保の都合上、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。

議会事務局

Tel 23 - 4111

(内線 462・463)

市議会の詳しい情報は、岩見沢市議会のホームページをご覧ください。
(上記QRコードからでもご覧になれます。)

岩見沢市議会

